

21-11-12

列車と自動車の衝突脱線事故を想定した総合復旧訓練を実施 ～新型コロナウイルス感染防止対策の下、列車脱線事故復旧の訓練を行います～

名古屋鉄道は、踏切内に進入してきた自動車と運行中の列車との衝突脱線事故を想定した災害事故総合復旧訓練を築港線 大江駅～東名古屋港駅間において11月19日(金)に実施します。

この訓練は、お客さまへのご案内・避難誘導や車両・施設の復旧作業の実践を通して、情報収集方法や復旧作業手順、現場の指揮命令系統などの確認と、災害復旧時の部署間協力体制の確立を目的に毎年実施しており、今年で17回目です。

今回は、本年より新たに導入した、現場の画像や動画を係員間で即座に共有できる当社専用の情報共有アプリを用いて、被害状況の報告を実施するほか、新型コロナウイルス感染防止に考慮したお客さまへのご案内・誘導を行います。

当日は、高崎裕樹(たかさき・ひろき)取締役社長、鈴木清美(すずき・きよみ)取締役副社長執行役員・鉄道事業本部長をはじめ、駅や運転現場の係員、土木・車両・電気部門の係員など、約90人が現地にて感染防止対策を講じた上で参加します。

なお、当日は社内外の関係各所に対して訓練の様子をライブ配信します。

詳細は、下記のとおりです。

記

- 1 実施日 11月19日(金)
 - 2 場 所 築港線 大江駅～東名古屋港駅間
(名古屋市港区)
 - 3 訓練時間 開始:13時00分 終了:14時20分
 - 4 訓練内容
 - (1) 通報(列車無線による)
 - (2) 列車内の感染防止対策(窓の開放など)
 - (3) 被害状況の報告(専用の情報共有アプリを使用)
 - (4) 情報収集と指揮命令系統の確認
 - (5) 避難誘導
(着脱式車いす緊急避難装置「JINRIKI®QUICK」を使用)
 - (6) 脱線復旧作業
 - (7) 事故車両収容(救援列車による)
 - (8) 踏切遮断機の復旧、架線点検(アクションカメラを使用)
 - (9) 軌道修正(エンジン式タイタンパーを使用)
- ※内容は変更となる場合がありますのでご了承ください。



前回(2020年11月)実施の訓練の様子